エムエスピーアプリライタシステムの推移と「自動車検査登録申請システム」更改のあゆみ

国交省自動車登録制度の変遷

国交省における自動車登録申請の変遷は以下のような経緯で発展をしており現在に至っています。

エムエスピーシステムの変遷

エムエスピーのアプリライタシステムも、国交省における自動車登録申請の変遷に合わせて発展をしており現在に至っています。

2024年

国交省自動車登録制度の変遷	エムエスピーシステムの変遷
OBD(オンボードダイアグノーシス/車載式故障診断装置)手数料徴収実施 車検証ICタグ発表 税制変更 **MOTASシステム更改**	アプリライタ、JR2S、K-VEXシステムOBD対応版提供 Web継続システムOBD対応版提供

2020年

国交省自動車登録制度の変遷	エムエスピーシステムの変遷
OSS(ワンストップサービス)軽自動車継続申請開始 OSS全国展開(順次)、税制変更 OSS継続申請開始(全国一斉)	K-VEX(軽自動車OSS申請クラウドシステム)提供 JR2S(登録車OSS申請クラウドシステム)提供 Web継続システムOSS対応システム(クラウド)提供

2016年

国交省自動車登録制度の変遷	エムエスピーシステムの変遷
税申告用紙記載内容変更 FD(フロッピーディスク)申請からCD申請への変更 **MOTASシステム更改**	Web継続システム(タブレット記録整備簿、検査機器連動)(クラウド)提供 CD申請システム、ディーラー様向け登録依頼支援システム(クラウド)提供

2012年

国交省自動車登録制度の変遷	エムエスピーシステムの変遷
OSS代行センター方式開始 登録識別情報項目追加 軽自動車登録変更	登録依頼補助システム(クラウド) Windows7版アプリライター OSSアプリライタシステム提供

2008年

国交省自動車登録制度の変遷	エムエスピーシステムの変遷
重量税還付申請実施 OSS一部地域にて実施 **MOTASシステム更改**	新OCR対応、OSSシステム後方処理システム提供 Web保安基準適合証システム(整備記録簿機能)(クラウド)

2004年

国交省自動車登録制度の変遷	エムエスピーシステムの変遷
低燃費自動車優遇税制実施 FD登録の開始 統一税申告実施	Web希望番号申請、登録証明システム ai21データ連携、FD申請、メールデータ送信、登録番号付与システム提供 税申告全国統一版対応

2000年

国交省自動車登録制度の変遷	エムエスピーシステムの変遷
OCR(オプティカルキャラクターレコグニション)シートの全面的変更、 希望番号対応等 登録番号3桁化対応と第二水準文字対応数強化 **MOTASシステム更改**	アプリライタVer3、A4用紙対応、税申告 低燃費車対応の提供 Windows版、後方処理、軽自動車、車庫証明システムの開発 希望制施行によるOCRシート改造とWEB希望番号申込システム提供

1996年

国交省自動車登録制度の変遷	エムエスピーシステムの変遷
税申告書出力の機械化とレーザービームプリンタシステム化対応	アプリライタVer2導入とレーザーショット対応改良

1992年

国交省自動車登録制度の変遷	エムエスピーシステムの変遷
マークシートによる登録からOCRシート登録業務 活字OCRプリンタの採用(デルクプリンタを使用) **MOTASシステム更改**	後方処理システム(COBOL言語)の開発 アプリライタVer1 パソコンシステム提供開始

1988年